

おがまち日奈久ニュース

令和4年6月号
(第154号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(4月末現在)
男 1,111人
女 1,342人
計 2,453人
(前月比-5人)
(2009年末3,444人)

「ありがとう」が
行き交うまち 日奈久
身近な人に「ありがとう」
愛する日奈久に「ありがとう」
訪れる人に「ありがとう」



令和4年度住民自治会定期総会

今年も「書面議決」で

今年度もコロナ禍のため、総会が行わずに、代議員等による「書面議決」を実施することになりました。事前に配布した文書を各代議員が期間中に検討し、承認を得て議決することになります。

◇期間 6月13日(月)～6月17日(金)

◇主な議題

- 令和3年度事業報告及び一般会計決算報告
- 日奈久住民自治会基金決算
- コミセン管理業務一部委託事業 決算
- 特別会計決算報告(津森小学校遭難の碑基金)
- 令和3年度監査報告
- 令和4年度事業計画(案)及び一般会計予算(案)
- 令和4年度事業計画(案)及び一般会計予算(案)
- コミセン管理業務一部委託事業 予算(案)

各町内の代議員(敬称略)

(新開町)	廣瀬徹也
(大坪町)	荻田光雄
(新田町)	吉川幸徳
(山下町)	坂口祐弘
(竹内町)	浅川美孝
(塩北町)	山本 巖
(塩南町)	本山圭一
(濱本)	木村哲也
(浜町)	濱本 隆
(東町)	高田榮昭
(中町)	上野智子
(上西町)	伊藤輝充
(中西町)	松本寛三
(下西二)	山下 貢
(馬越町)	今井昌文
	岡部和正
	吉田武美
	吉田和子
	城下津代美
	丸山昭穂
	古賀辰次
	白濱アケミ
	吉永照義

人権について学び合っていきましょう 「人権のまちづくり」推進校区に指定

人権とは、全ての人が生まれながらにして持っている人間らしく幸せに生きていくための基本的権利です。八代市は、日本国憲法の理念に則り一人一人の人権が尊重された差別のない明るい町づくりを目指し、「人権いきいきまちづくり」を推進しています。その一環として、毎年度3校区が推進校区として指定されています。令和4年度は、日奈久校区が指定されました。

人権について学び合っていきましょう 「人権のまちづくり」推進校区に指定

皆さんは「人権」と聞くとどんなイメージを持ちますか。大切なもの、分りにくいもの、堅苦しくて難しいもの、自分には関係ないもの等と思っておられる人もいらっしゃるかもしれません。たとえば、「男らしく」「女らしく」という言葉を耳にすることがありませんか。最近大きな問題となっている戦争や殺人事件、児童虐待などは、人権侵害の最たるものですね。お互いを理解し、尊重することが社会生活を送る上でとても大切です。



毎月11日は「人権を確かめあう日」です。「ひと(人)はひと(人)しい」から11日となっており、この旗が掲げられます。

「飛角図式」の第一人者

江口伸治氏(上西町)

作品集出版

今年4月15日、上西町在住の江口伸治氏(86歳)著作の「飛角図式」詰将棋作品集が、つみき書店より出版されました。

江口さんは、19歳から詰将棋の創作を始め、20歳で初入選(塚田賞)されました。その後しばらく遠ざかり、65歳の時に本格的に「飛角図式」に取り組み始めました。「飛角図式」とは、盤面に玉と飛車と角行4枚のみが配置されている詰将棋のことです。盤面駒数は5枚で条件が厳しく、創作するのはかなり難しいといわれています。特に余詰(作意と異なる詰手順があつてはいけないのです。この作品集には、その「飛角図式」のみ150局掲載されています。江口さんは、その年最も優れた詰将棋作品に与えられる「看寿賞」を1回、「塚田賞」を2回受賞されています。

詰将棋専門月刊誌「詰将棋パラダイス」で全日本詰将棋連盟会長の柳田明氏は、江口さん著作の「飛角図式」について、「なんと飛



江口伸治氏(上西町)

今年もあります「トウモロコシ収穫祭」 ルールを守って、楽しい収穫祭にしましょう

今年も「アグリ日奈久」(代表白石節夫氏)のご厚意により「トウモロコシ収穫祭」が開催されます。白石代表の「皆さんに楽しんでいただければ」との思いで開催されます。感染対策をしながら、ルールをしっかり守って、楽しい収穫祭にしましょう。

◆場所 住民自治会の緑の「のぼり旗」が目印です。(左の図参照)

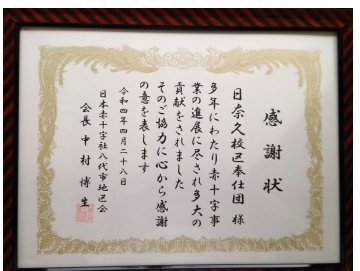
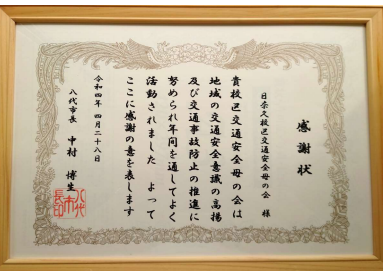


- ◆期日 令和4年6月19日(日)
 - ◆受付 9時～11時(小雨決行)
 - ◆料金 500円(6本)
 - ◆準備物 長靴、軍手、マスク
 - ◆主催 日奈久住民自治会
 - ◆協力 アグリ日奈久
 - ◆問合せ 日奈久コミセン
- 坂口 38-2390
携帯 090-4353-4659

◆この事業は収穫体験を目的としたアグリ日奈久の協力事業です。販売事業ではありませんので、予約は受け付けられません。生育状況や当日の天候により期日の変更もあります。

婦人会便り

交通安全母の会としての活動と日奈久校区奉仕団としての赤十字活動に対して感謝状が届きました。



これまでの継続的な活動が認められてのことです。おめでとございました。

【日赤募金活動】

今年も6月いっぱい募金活動を実施します。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

6月5日(日) 町内一斉清掃

今年6月5日(日)に町内一斉清掃が行われます。町内によっては諸事情により期日の変更があるかもしれません。それぞれの町内の計画に従い、日奈久の町をきれいにする活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

6月の行事から

- 5日(日) 町内一斉清掃
- 8日(水) 婦人会主催 クラウドゴルフ大会
- 19日(日) トウモロコシ収穫祭

<住民自治会関係会議等>
13日(月) 市政協力員例会
15日(水) 運営委員会
17日(金) 広報部会

住民自治会運営委から

5月16日(月)開催の運営委員会から、記事として扱っていない主な事項についてお伝えします。
○スポーツ文化部会
・6月から体育協会の名称が変更になり、日奈久も日奈久スポーツ協会と名称が変更になります。
・令和4年度八代市体育功労者表彰に松本啓佑氏を推薦しました。
○旅館組合
・母の日マルシェは好評でした。今後も不定期ですが、マルシェを開催していきたいと思います。

読者の広場

「二服のお茶」

馬越町 西村謙嗣

茶道には「一期一会」という言葉があります。その意味は、おそらく最後になるかもしれない。そうであるならば、短い時間でも精一杯のおもてなしをしよう。これが「一期一会」の言葉の意味だと思います。

封建時代、一歩我が家を出れば、いつ生命を落とすかもしれない。そういう人をお茶室に招いて対峙したときに、一服のお茶をいただくお客の気持ち、そして、このお茶室を出たら二人は、あるいは二度と会うこともないかもしれない。そう考えれば、この一服のお茶を差し上げ、そして、この一服のお茶をいただくということは、今生の別れかもしれない。そういう気持ちで相手に接する、あるいはもてなす精神というものが、大事なことです。日本の「茶」というものは、そういう精神が凝集されたものといえます。

(広告欄)

母の日イベント賑わう

カーネーション風呂・母の日マルシェ・サジキ席音楽会等

5月8日（日）母の日。気持ちの良い晴天に恵まれ、日奈久温泉「カーネーション風呂」が5カ所のホテル・旅館・浴場で開催されました。

日奈久ゆめ倉庫では「母の日マルシェ」。ラフひな×八代農業高校コラボイチゴスイーツやちく1克蘭プリ最優秀ちくわメニュー「ゆたっつと日奈久ちくわ」の販売をはじめとして、キッチンカー・フードブース・カーネーション販売などがあり、30分前にはイチゴスイーツの買い求めの行列が伸びました。

また、日奈久中学校の生徒会役員がボランティアでお楽しみ抽選会の進行を行いました。

一方、同日午後6時から、温泉神社イベント広場において「サジキ席音楽会」が行われ、約40名の聴衆が集まり、4組のアーティストのオリジナル曲やカバー曲が披露されました。最初は、新緑が映えるステージでしたが、日が傾くにつれ夕日・天草の夜景やライトアップされた神社で幻想的な雰囲気になっていきました。歌に合わせて自然に手拍子



花すくいを楽しむ親子

が出るなど、素晴らしい音楽会でした。この音楽会をネット以外でどのように周知していくのか今後の課題です。



ギターとウクレレの演奏

大明神「茅の輪くぐり」無病息災を願う

5月10日（火）好天に恵まれ、10時から茅の輪くぐりが大明神（日奈久阿蘇神社）にて、厳かに執り行われました。保育園児、地域住民、総数100名以上の参加があり、日々の健康を願い、青々とした茅の輪を8の字に周りくぐりました。先ず左足から踏み出し左に周り、右足から右回り、最後に左足からくぐり抜けてお祓いを受ける儀式です。茅の輪を



茅の輪をくぐる園児たち

イチゴの甘い香りに包まれて

日奈久中学生イチゴ収穫体験

5月10日（火）、大坪町の山下辰巳さんのイチゴハウスに日奈久中学生25名（うち3名欠席）が訪問して、イチゴ狩りの体験をしました。毎年山下さんのご厚意で実施されている体験活動です。

ハウスに入ると、熊本県独自の品種「ゆうべに」が、見事に実っていました。生徒たちは試食したり、摘んだイチゴを持参した入れ物に入れたりして楽しみました。あまりのおいしさについて食べ過ぎて、「給食がはいらんかも」との声も聞かれました。

「かおり野」という品種との食べ比べもあり、大満足の貴重な体験となりました。



次々とイチゴを摘み取る中学生

「Challenge～また一步その先へ～」力一杯頑張った日奈久小中合同運動会



元気にスタートする小学1年生

5月22日（日）素晴らしい晴天の中、日奈久小中合同運動会が開催されました。今年も感染防止対策をしっかりと行った上で実施されました。

本年度のスローガン「Challenge～また一步その先へ～」のもと、子供たちは全ての競技に果敢に挑戦し、力一杯頑張りました。昨年度との違いは、中学校が赤団、白団、青団、緑団、黄団の5組にわかれて競技したことです。



力を合わせて大玉転がし

立てて協力して取り組みました。リレーでは華麗なバトンパスで繋いでいきました。ダンスは短い時間でよくこれだけのレベルに仕上がることができたと思わせるほどでした。中3と小6の親子が参加する技巧走では、親子が二人三脚で肩を組む調子を合わせながら走る姿が仲睦まじく、親をおんぶするなど子供の成長を感じられる良い機会となりました。



上級生の力を見せた台風の目



百花繚乱の舞

ていました。演舞が終わると大きな拍手で運動場が包まれました。応援団長の赤団米本こたろうさんと白団中村りおさんは、「難しいこと、大変だったこともあったけど、みんなを引っ張っていくことができて良かった。3週間みんなや先生方とよく頑張ることができた。今日の出来は、100点です」と、充実感に満ちた笑顔で話しました。

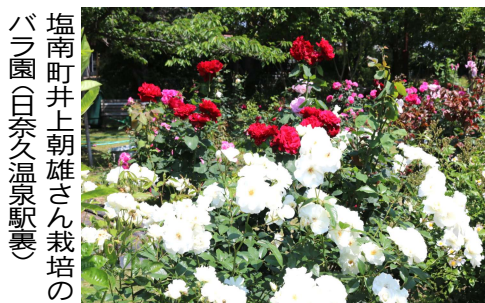
閉会式での感想では、「スローガンのもと皆と協力してダンスや応援団を頑張れたこと、最高の思い出になったこと、来年もっと良い運動会にして欲しいこと、仲間を信じて最後まで頑張



気持ちをそろえて5人6脚



下西町の吉田隆義さん栽培のブーゲンビリア



塩南町井上朝雄さん栽培のバラ園（白奈久温泉駅裏）

今年も見事に咲きました。

街角スナップ

（広告欄）